

マルチパートナーシップ

郷土への愛着を深める協力関係を構築 団体間のコーディネート等を行う

神村 健太郎

(ふじさわ新市政会)

郷土への愛着を高め、マルチパートナーシップの推進... 郷土への愛着を深めていくマルチパートナーシップの推進... 郷土への愛着を深めていくマルチパートナーシップの推進...

不祥事の再発防止 専門部署の設置を

武藤 正人

(藤沢市公明党)

不祥事が多発している本市の体質を改善するためには、市民への責任を果たすことに特化した専門的組織をつくり、再発防止に... 不祥事が多発している本市の体質を改善するためには、市民への責任を果たすことに特化した専門的組織をつくり、再発防止に...



避難所運営の課題を共有する取り組みが進められている

先進的な事例を広く紹介 各地区の防災訓練 地域防災力の強化につなげる

阿部 すみえ

(藤沢市公明党)

自然災害が多発する中、自助、共助、公助に対する市民の意識が高まってきているが、地区によって... 自然災害が多発する中、自助、共助、公助に対する市民の意識が高まってきているが、地区によって...

中で、その機能や内容も含めて検討していく。市政への信頼回復のためには、実効性のある再発防止策をつくりあげ、それを... 中で、その機能や内容も含めて検討していく。市政への信頼回復のためには、実効性のある再発防止策をつくりあげ、それを...

台湾との地域間交流 さらなる観光誘客を

山口 政哉

(市民クラブ藤沢)

台湾からの観光誘客について、本市ではどのように取り組んでいるのか。本市では、海外誘客事業の重点エリアに東アジアを位置づけ、中でも台湾... 台湾からの観光誘客について、本市ではどのように取り組んでいるのか。本市では、海外誘客事業の重点エリアに東アジアを位置づけ、中でも台湾...

江の島のバリアフリー 現在の進捗状況は

有賀 正義

(無所属クラブ)

オリンピック開催を見据え、市は国内外からの観光客数を年間200万人とする目標を掲げているが、そのためにはさらなる取り組みが必要である。中でもオリ... オリンピック開催を見据え、市は国内外からの観光客数を年間200万人とする目標を掲げているが、そのためにはさらなる取り組みが必要である。中でもオリ...



早期のバリアフリー化が求められている江の島

大型開発事業 抜本的な見直しを

柳沢 潤次

(日本共産党藤沢市議会議員団)

今後5年間の財政見直しにおける公共施設再整備以外の大型開発等事業費の見込みを聞きたい。現在、中期財政フレームを作成しており、現段階では公共施設再整備以外の... 今後5年間の財政見直しにおける公共施設再整備以外の大型開発等事業費の見込みを聞きたい。現在、中期財政フレームを作成しており、現段階では公共施設再整備以外の...

一方で、道路建設等の都市基盤整備事業については、都市の活性化を図り、市民生活の利便性を高める上で... 一方で、道路建設等の都市基盤整備事業については、都市の活性化を図り、市民生活の利便性を高める上で...

外国の国旗や国歌 敬意を払う学習を

堺 英明

(ふじさわ新市政会)

東京オリンピック等国際大会の開催を見据え、参加国の歴史や文化を象徴する国旗や国歌に敬意を示す態度を身につけることが必要と考えるが、学校での... 東京オリンピック等国際大会の開催を見据え、参加国の歴史や文化を象徴する国旗や国歌に敬意を示す態度を身につけることが必要と考えるが、学校での...

旧藤沢高校跡地 主体的な活用を

酒井 信孝

(市民派クラブ)

旧藤沢高校跡地内の市所有地である廃道敷(旧赤道)は約1300平方メートルあり、想定売却価格は1億4000万円程度になると... 旧藤沢高校跡地内の市所有地である廃道敷(旧赤道)は約1300平方メートルあり、想定売却価格は1億4000万円程度になると...

居場所事業への支援 取り組みの考え方は

原田 伴子

(市民クラブ藤沢)

藤沢市地域包括ケアシステムの推進において、課題を抱えた方への支援の入り口や場となる地域の縁側事業等の支援者への支援... 藤沢市地域包括ケアシステムの推進において、課題を抱えた方への支援の入り口や場となる地域の縁側事業等の支援者への支援...

居場所事業への支援 取り組みの考え方は

原田 伴子

(市民クラブ藤沢)

ひとり暮らし高齢者の増加や所得格差など、多種多様な課題を抱えた方がふえると捉えている。これらに対応するため、地域の... ひとり暮らし高齢者の増加や所得格差など、多種多様な課題を抱えた方がふえると捉えている。これらに対応するため、地域の...

縁側など誰もが気軽に立ち寄れる居場所の整備を進めている。また、地域でも子ども食堂などの取り組みも広がっており、支援が必要な方や支援の必要性を自分自身で認識できていない方などへの気づきにつなげ... 縁側など誰もが気軽に立ち寄れる居場所の整備を進めている。また、地域でも子ども食堂などの取り組みも広がっており、支援が必要な方や支援の必要性を自分自身で認識できていない方などへの気づきにつなげ...

東京2020大会を契機に、他国の国旗や国歌に敬意を示すことを通して、国際感を高め、他国の人々や文化を尊重する態度の育成を図っていく。東京2020大会を契機に、他国の国旗や国歌に敬意を示すことを通して、国際感を高め、他国の人々や文化を尊重する態度の育成を図っていく。

現状では使用できない状態となっている。新設される道路と重複する部分は存置するが、それ以外を集約して活用できる敷地とし、その一部に開発事業者の負担で(仮称)交流センターを設置することとなっている。(仮称)交流センターについては、この土地の伝統ある教育施設としての経緯や藤沢宿としての歴史等、さらに地元の要望を踏まえ、広く市民が集い世代間交流のできる施設の設置を神奈川県の事業者募集要項に盛り込むことを市として要望したものである。今後、(仮称)交流センターをどのような施設とするか等について、市の要望を事業者に伝え、協議を進めていく。

市所有地である廃道敷(旧赤道)は約1300平方メートルあり、想定売却価格は1億4000万円程度になるとの答弁があった。市はこれらの土地を集約して主体的に活用するか売却するべきである。市所有地が開発事業者の設置する(仮称)交流センター等の事業用地として利用されることとなっているのは市にとって不利益であるのは明らかであるが、見解を聞きたい。本事業地内には、廃道敷である赤道部分が散在

市所有地である廃道敷(旧赤道)は約1300平方メートルあり、想定売却価格は1億4000万円程度になるとの答弁があった。市はこれらの土地を集約して主体的に活用するか売却するべきである。市所有地が開発事業者の設置する(仮称)交流センター等の事業用地として利用されることとなっているのは市にとって不利益であるのは明らかであるが、見解を聞きたい。本事業地内には、廃道敷である赤道部分が散在

市所有地である廃道敷(旧赤道)は約1300平方メートルあり、想定売却価格は1億4000万円程度になるとの答弁があった。市はこれらの土地を集約して主体的に活用するか売却するべきである。市所有地が開発事業者の設置する(仮称)交流センター等の事業用地として利用されることとなっているのは市にとって不利益であるのは明らかであるが、見解を聞きたい。本事業地内には、廃道敷である赤道部分が散在

市所有地である廃道敷(旧赤道)は約1300平方メートルあり、想定売却価格は1億4000万円程度になるとの答弁があった。市はこれらの土地を集約して主体的に活用するか売却するべきである。市所有地が開発事業者の設置する(仮称)交流センター等の事業用地として利用されることとなっているのは市にとって不利益であるのは明らかであるが、見解を聞きたい。本事業地内には、廃道敷である赤道部分が散在